

「全国クリーン作戦！～地球🌍をきれいに！」
社員ボランティアによる清掃活動、まず神戸からスタート

メットライフ生命保険株式会社(代表執行役 会長 社長 最高経営責任者 デイルク・オステイン)は、当社が掲げるサステナビリティ基本方針における「豊かな地域社会の創造に寄与する」「環境保護活動に注力する」という重要課題の一環で、「全国クリーン作戦」と題して清掃ボランティアを実施します。その初回は5月1日に神戸のメリケンパークから始めます。

メットライフグループは、2030年における環境目標の一環として、世界中で社員とステークホルダーを環境スチュワードシップの活動に巻き込んで啓発することにより、コミュニティを保護していくことを約束しています。4月には、個人やグループで参加する全世界一斉の清掃活動(「MetLife Extraordinary Litter Pickup (MELP)」)を初めて行い、多くの社員がその活動に参加しています。

この「全国クリーン作戦」はその流れをくみ、初回となる神戸での活動は、「KOBE ウォーターフロントエリア・くりえんてーりんぐ」と名付けられ、クリーン活動とオリエンテーリングを融合した、社員が同僚、友人、ご家族と一緒に神戸のベイサイドエリアの名所26か所を巡りながらごみ拾いをするボランティア活動となります。長引くコロナ禍で、社員が集まれる機会はほとんど無かったことから、この活動を通じて“人”と“街”に触れることで地域の新たな魅力を発見し、地域社会に価値を提供していくことや、地域の活性化をサポートすることに生かしたいと考えています。今後は、5月22日(日)に東京と長崎でも実施予定です。

当社における神戸は、本社と位置付ける東京、長崎に次ぐ規模の重要拠点であり、約500名の社員・従業員が働き、お客さまへのサービスを行うカスタマーケア、保険金査定、収納保全等の根幹業務を行う神戸サイトがあります。3月からは新たに女性サイトリーダーを配置し、ダイバーシティ(多様性)、エクイティ(公平性)、インクルージョン(包括性)といったDEIを重視した働きやすい職場環境と企業文化の醸成に積極的に取り組むとともに、地域社会に密着した企業になるため変化し続けるよう努めています。本取り組みも社内の環境ボランティアチーム(Green Team)が企画したものとなります。

メットライフ生命は、こうした取り組みを通じて神戸市民の皆さまや地域社会に新たな価値を提供し、地域の活性化をサポートしていくとともに、よりたしかな未来に向けて今後もさまざまな取り組みを行ってまいります。

「KOBE ウォーターフロントエリア・くりえんてーりんぐ」

実施日:2022年5月1日(日)

場 所:神戸ウォーターフロントエリア メリケンパーク～ハーバーランド

時 間:10:00 開始(12:00 まで)

以上

メットライフ生命について

メットライフ生命は日本初の外資系生命保険会社として1973年に営業を開始し、現在は世界有数の生命保険グループ会社、米国メットライフの日本法人としてお客さまに常に寄り添い、最適な保障を選ぶお手伝いをしています。多様な販売チャネルを通じて、個人・法人のお客さまに対し幅広いリスクに対応できる、革新的な商品の提供に努めています。

<https://www.metlife.co.jp/>